

高等院校日语专业基础课教材

日语泛读 教程

3

21世纪日语教材编写组
主编 张敬茹 刘艳萍



- 指导学生阅读日语原版文章。
- 语法解释简明扼要。
- 练习充分，针对性强，迅速提高阅读能力。

南开大学出版社

日 语 泛 读 教 程

第 三 册

主 编 张敬茹 刘艳萍

编 者 胡玉琴 张敬茹

窦金兰 花 超

南 开 大 学 出 版 社

天 津

图书在版编目(CIP)数据

日语泛读教程. 第3册/张敬茹,刘艳萍编著.---天津:南开大学出版社,2002.12

ISBN 7-310-01785-4

I. 日... II. ①张...②刘... III. 日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2002)第060409号

出版发行 南开大学出版社

地址:天津市南开区卫津路91号 邮编:300071

营销部电话:(022)23508339 23500755

营销部传真:(022)23508542

邮购部电话:(022)23592200

出版人 肖占鹏

承印 天津蓟县宏图印务有限公司印刷

经销 全国各地新华书店

版次 2002年12月第1版

印次 2002年12月第1次印刷

开本 880mm×1230mm 1/32

印张 8.625

字数 245千字

印数 1—5000

定价 14.00元

本教材为天津外国语学院日语系科研项目

主 编 张敬茹 刘艳萍

编委会 (以姓氏笔画为序)

刘艳萍 张晓希 张敬茹

胡玉琴 赵淑玲

编 者 (以姓氏笔画为序)

王秋兰 王淑兰 付志坚 刘艳萍

杜武媛 张晓希 张敬茹 花 超

胡玉琴 赵淑玲 晁春莲 盖丽亚

窦金兰

前 言

在多年的日语教学实践中,我们深深感到:从日语学习的基础阶段开始,系统地指导学生大量阅读日文原版文章,使之掌握阅读方法,不断提高阅读理解及分析解决问题的能力,扩大知识面,丰富语言,是打好日语基础及学好日语必不可少且不容忽视的一个重要问题。为满足日语教学的这一需求,我们编写了这套《日语泛读教程》,以解决日语教学及日语学习者之急需。

本教材适用于日语专业的泛读课、大学日语的阅读课和各类日语教学单位的教学,也可供广大日语自学者使用。并可作为精读教材的配套教材使用。

本套教材分为四册,每册 20 课,每课由课文、新单词、语法句型说明、课文练习、课外阅读训练五部分组成。“课文”均为经过严格筛选的日语原文。选材时充分注意了思想性、知识性、科学性、实用性、趣味性和可读性,同时兼顾文章题材的广泛性和体裁的多样性。在编排上充分考虑了文章的长短适中和难易程度由浅入深循序渐进。“新单词”部分,提出影响阅读和理解的词汇,标注出日语的读音和汉字,并加中文解释。“语法句型解释”部分,对课文中出现的重点语法现象和句型使用,进行简明扼要的解释说明,例举 2~3 个例句并加译文。例句力求贴近生活,即有趣又实用,帮助学生加深对新的语法现象、句型的理解和运用。“课文练习”部分,以提高学生的理解能力和

突出在教学中的指导性作用为原则。提出的问题均与课文内容紧密相关,帮助学生掌握本课所学内容,并予以检查。其中练习一为词汇的读音和日文汉字的书写;练习二为语法句型、词汇、副词用法、惯用句等的活用;练习三是围绕课文内容的思考判断及问答题。题型四册各异,各有侧重点。“课外阅读训练”部分为快速阅读部分,每课选择一篇至两篇内容或知识点与课文相关的短文,文后根据各册的要求,提出形式不同的问题供学生进行练习,旨在提高学生的阅读能力,并竭力与国际日语能力考试、国内四、八级日语能力测试相接轨。为方便学习者,每册书后均附有参考答案、句型索引、单词索引。每册书后的“课外读物”部分,供学有余力且感兴趣的读者作为阅读理解的自测题使用。

本套书第一册供大学一年级下学期使用,第二册供大学二年级上学期使用,第三册供大学二年级下学期使用,第四册供大学三年级上学期使用。(以下编写人员均按姓氏笔画排序)

第一册由赵淑玲负责。编写人员:赵淑玲、晁春莲、盖丽亚。

第二册由刘艳萍负责。编写人员:王秋兰、王淑兰、刘艳萍。

第三册由胡玉琴负责。编写人员:花超、张敬茹、胡玉琴、
窦金兰。

第四册由张晓希负责。编写人员:付志坚、杜武媛、张晓希。

在本套书的编写过程中,始终得到了在天津外国语学院任教的日本专家的热情指导和帮助,天津外语学院东语学院的领导也为本书的编写及出版工作提供了各方面的支持和帮助,南开大学出版社的张华同志为本书录入文稿及组版工作付出了辛勤的努力,在此一并表示诚挚的谢意。

由于时间仓促,水平有限,难免存在不足和错误,敬请各位专家

及广大读者给予批评指正。

天津外国语学院日语系
《日语泛读教程》编写组
2002年5月

目 录

第1課	住まいの工夫	1
第2課	ゴルフ場開発と林業の衰退	9
第3課	テレビ映像の伝えるもの	18
第4課	抗議としての登校拒否	27
第5課	自動車の普及	34
第6課	豊かさの意味	43
第7課	少子化進行で見える社会のゆがみ	53
第8課	進むオリンピックの商業化	62
第9課	うちの猫にかぎって	72
第10課	ぐみの実	82
第11課	宇宙人へのメッセージ	91
第12課	増える持ち帰り残業	103
第13課	日本たたき	113
第14課	日本式ビジネス交渉術	122
第15課	変化する日本の会社組織	131
第16課	日本人の宗教と信仰心（上）	141
第17課	日本人の宗教と信仰心（下）	152
第18課	伝統芸能の世界	161
第19課	伝統のスポーツ	174
第20課	日本のことわざ50選	191

课外读物·····	201
参考答案·····	221
单词索引·····	244
语法句型索引·····	263

第1課 住まいの工夫

人間の生活は、自然との戦いから始まったと言われている。戦いといっても、初めは、自然の厳しさからどのように身を守るといふかということであった。そのために、人間は住まいを作った。気候や風土に対する工夫は、建築の大切な要素となったのである。

かつて北極圏の人々は、冬になると、雪の固まりを四角に切り、おわんを伏せたような形に積み上げて家をこしらえていた。寒い土地で雪の家とは不思議に思われるかもしれないが、雪は、木や石よりずっと熱が伝わりにくいものなのである。雪でできているから、火をどんどん燃やすというわけには行かないが、わずかな火でも、または体温だけでも、熱が外へ逃げなければ、そのうちに、部屋の中が暖まるというわけである。

次に、暑い地方ではどうだったのだろうか。南アフリカのある種族は、泥を固め、草で屋根を覆って、家を作っていた。泥の家は、太陽光線を避けるのに都合がよかったからである。

暑い国でも、東南アジアのように雨の多い所では、泥の家だと、たちまち崩れてしまう。それで、竹や木を組み合わせて風通しのいい家を建てた。また、地面に直接建てずに地上や水上に支柱を立て、その上に家を作ることもあった。

ところで、日本の住まいはどうだったのか。まず気候の面から考えてみよう。日本の冬は、寒いといっても、東京でせいぜい零下五・

六度程度だから、着るものを工夫するとか、火をたくとかによって寒さがある程度は防ぐことができる。ところが、夏は、気温が高い上に、湿度も高いため、たいへん蒸し暑く感じられる。そこで、昔の日本人は、夏を涼しく、清潔に過ごせるように工夫をした。昔ながらの日本家屋の取り外しのできるふすまやしょうじ、少ない壁、これらはすべて風を通すため、役に立つのである。

次に、材料の面から考えてみよう。これは、どの地域でも、容易に手に入れられるものを利用していった。北極圏の雪、東南アジアの竹や木などみなそうである。日本も例外ではない。外国の人は、よく、日本の家は木と紙で出来ていると言うそうだが、昔ながらの日本家屋は確かに大部分の材料がそうである。殊に柱など骨組みは、ほとんどが木材である。これは、日本には昔から建築に適した木が豊富だったということが大きな理由であろう。

しかし、木造の家屋は、土台が腐りやすい、火災を起こしやすいなどという欠点もある。地震や台風で倒される恐れもある。そこで、最近では、金属やセメントなど鉱物質の材料を多く用いている。これは、日本の工業が発展し、交通も発達して、さまざまな材料が遠く離れたところからでも楽に入手できるようになったからである。また、外国の影響を受けて、西洋風の生活様式を採り入れた結果でもある。もっとも、鉱物質の材料を用いた家屋には、通風が悪くなりがちで、湿気が多くなるというような短所もあり、どちらがいいとは単純には決められない。

長い歴史の間に、住まいは、単に自然から身を守るばかりでなく、生活を豊かにするものとなってきた。今後も、いっそう丈夫で、合理的な、楽しい住まいを目標に工夫が続けられていくことであろう。

【新しい言葉】

北極圏 (ほっきょくけん)	北極圏
伏せる (ふせる)	隱藏, 伏下; 盖上
積み上げる (つみあげる)	堆积, 积累
こしらえる	做, 制造
種族 (しゅぞく)	种族
固める (かためる)	加固, 巩固, 坚定
覆う (おおう)	覆盖, 蒙上
崩れる (くずれる)	崩潰, 倒塌, 失去原形
組み合わせる (くみあわせる)	搭配, 配合, 组装
たく	生火, 烧火
昔ながらの	一如往昔, 一如原样
取り外し (とりはずし)	摘下, 卸下
ふすま	(日式房屋的) 隔扇, 拉門
障子 (しょうじ)	(日式房屋的) 拉窗
通す (とおす)	通, 通过
骨組み (ほねぐみ)	骨架
土台 (どだい)	基座, 地基
倒す (たおす)	弄倒, 弄死
セメント	水泥
鉱物質 (こうぶつしつ)	矿物质
入手 (にゅうしゅ)	入手, 取得
もつとも	不过, 可是

【新しい文法と文型】

①～と言っても

接在用言简体句、体言后,表示“虽说……但……”,“虽然……但……”,“尽管……但……”等意。

○新幹線と言っても、ずいぶん前にできたものだ。

(虽叫作新干线,但它是很早以前就有的。)

○弟の場合、勉強していると言っても、ただ机の前に座っているだけだ。

(虽说弟弟在学习,但他只不过是坐在桌子前坐着而已。)

②～わけにはいか(ゆか)ない。

接用言连体形后,表示“不能……”,“不好……”,“无法……”等意。

○今日は頭が痛いから休みたい。しかし、試験があるので、休むわけにはいかない。

(今天我头疼本想休息。可是因有考试不能休息。)

○私が入院したことは誰にも話したくないが、田舎の母には知らせないわけにはいかない。

(关于我住院的事不想告诉任何人。但不能不告诉乡下的母亲。)

③～恐れがある。

接用言连体形后,表示不好的结果。“恐怕要……”、“有……的危险”等意。

○工場が増えると、川の水が汚くなる恐れがある。

(工厂多起来就有污染河水的危险。)

○これは鉄でできたものですから、燃える恐れはありません。

(这是用铁制做的，所以不会有燃烧的危险。)

④～を～に

“を”“に”前均接体言，表示“以……为理由、目标”等意。

○原料が高くなったのを理由に、製品の値段を上げた。

(以原料涨价为由，提高了产品价格。)

○平和な社会を目標に、その会議が一年に一回開かれることになった。

(以建立和平的社会为目标，决定每年举行一次会议。)

【練習】

一、次の漢字に振り仮名をつけなさい。

①工夫

②通風

③清潔

④柱

⑤風通し

⑥家屋

二、次の各文中の片仮名の部分を漢字に直しなさい。

1. 草でヤネ()をオオ()う。

2. 地上や水上にシチュウ()をタ()てる。

3. ドダイ()がクサ()りやすい。

4. シッケが強い。

三、次の文の_____にはどんな言葉を入れたらよいか。①～④から最も適当なものを一つ選びなさい。

1. ボランティア活動_____、自分自身も多くのことを学んだ。

①にかけて

②によって

③にとって

④に対して

2. 最近は天気が良いくないせいか、気分が_____です。

①沈むがち

②沈みのがち

③沈んだがち

④沈みがち

3. あの人はどんな学生_____熱心に指導してくださる。

①によって

②にとっても

③に対して

④に対しても

4. 泥の家は太陽の光線を避ける_____都合がよかった。

①のに

②のが

③から

④ので

5. 入学金は高い_____払えない額ではなかった。

①といたら

②といえ

③といっても

④といっ

6. おいしそうだが、主賓のあいさつが終わるまでは食べ始める_____。

①わけではない

②わけはない

③わけにはいかない

④わけだ

四、本文の内容によって、次の質問に答えなさい。

1. 歴史的に見て、人間が住まいを作った理由はなにか。

2. 日本では家の材料として主にどんな物が使われていたか。

3. 日本では、気候のことを考えて住まいにどんな工夫をしていたか。

4. 最近の日本では、家を作るのに鉱物質の材料が多く用いられるようになった。その理由を二つ挙げなさい。
5. 木造の家屋と鉱物質の材料を用いた家屋のそれぞれの欠点を挙げなさい。
6. 今後の住まいは、生活を豊かにするために、どのような工夫がされていくであろうか。

五、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ジョディは、熱病から回復しながら、心地よげに横たわっていた。

母はジョディの病気を熱病と呼んだ。だから彼も①それに逆らわなかった。だが、心の奥ではひそかに生のいばらの実を食べ過ぎたので、病気になったにちがいないと思っていた。しかし、②そんなことが母に知られたら、母の手当ては熱病とうって変わって、ひどく手荒になるにきまっている。母は彼が震えているのを見ると、そんな大きな手を彼の額に当てて「床に入りなさい。お前は熱病にかかっている。」と言った。彼はそれに対して何も言わなかった。

母は、湯気の立つ液体の入ったコップを持って、部屋へ入ってきた。彼は不安気に③それをながめた。母は二日間レモン葉のせんじ茶を飲ましてくれた。それはにおいがよくてうまかった。というのは、はじめ彼がすっぱいと言ってぶつぶつ言うと、母がジェリを一さじ加えてくれたからだ。

問1 ____線①「それ」は、何を指すか。指しているものを次から選びなさい。

- (1) 熱病から回復すること
- (2) 母がジョディの病気を熱病と呼んだこと
- (3) ジョディの病気
- (4) 熱病

問2 ____線②「そんなこと」とは、どんなことか。次から選びなさい。

- (1) なまのいばらの実を食べ過ぎたので病気になったにちがいないと思っていること。
- (2) 母に逆らうこと。
- (3) 病気になったにちがいないこと。
- (4) 心の奥ではひそかに。

問3 ____線③「それ」は何を指すか。指しているものを次から選びなさい。

- (1) 部屋に入ってきた母
- (2) レモン葉のせんじ茶
- (3) 湯気の立つ液体の入ったコップ
- (4) 不安の気持ち